

## 東京都がん対策推進計画とは

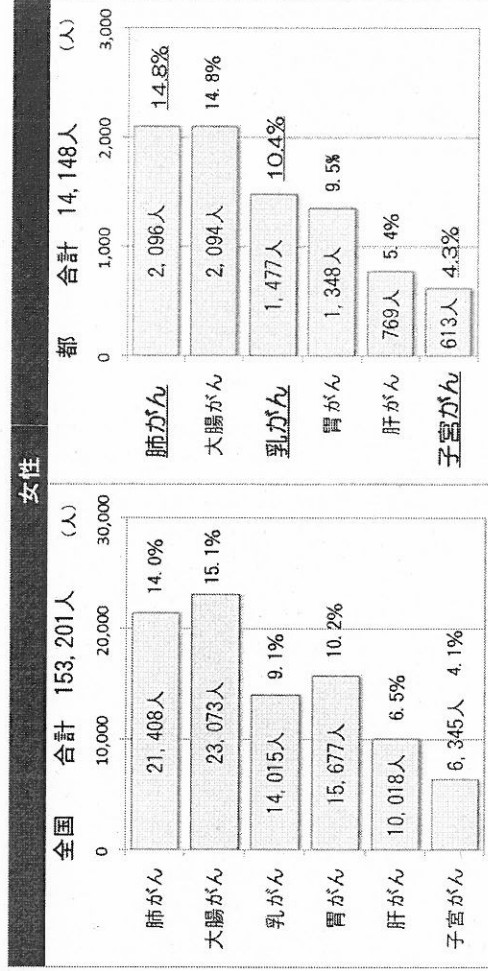
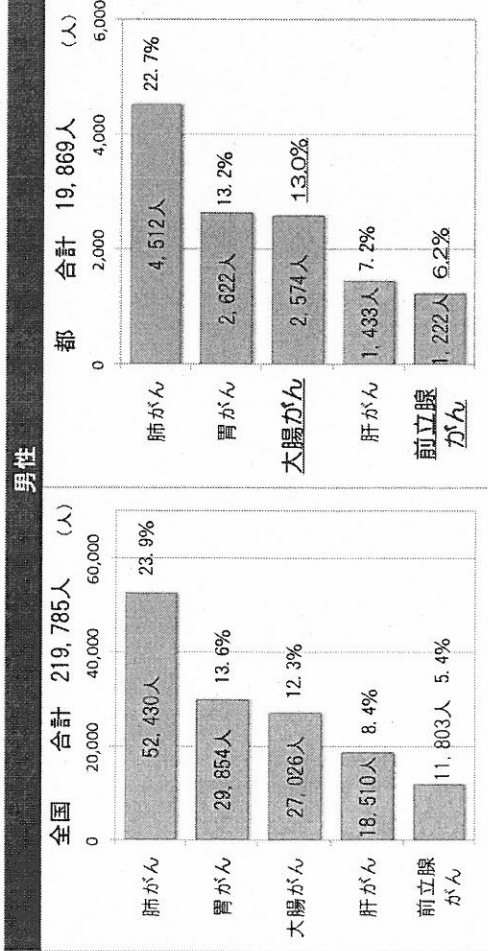
都道府県が、がん患者に対するがん医療の提供状況等踏まえ策定する、がん対策の推進に関する計画（がん対策基本法第11条第1項）

## 計画期間

平成30年度から平成35年度までの6年間（少なくとも6年ごとに必要に応じて変更）

## 都のがんの状況

がんの種類別がんによる死亡者割合の比較



○ がんの罹患を防ぎ、がんによる死亡を減らすためのがんの予防・早期発見

○ トータルケア（患者等が、診断から治療、その後のフォロー含めた全ての時期において、全人的なサポート）が受けられる医療提供体制の確保

○ がん患者が、罹患後に生きていくうえで直面する課題を乗り越えて行くための支援

## 全体目標

「がん患者を含めた都民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

- ① 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- ② 患者本位のがん医療の実現
- ③ 尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会の構築

### 第1章 計画改定に当たって

- これまでの国及び都のがん対策
- 本計画の位置付け・計画期間・進行政管理

### 第2章 がんを取り巻く現状

- データに基づく都のがんの状況及び地域特性

### 第3章 全体目標と基本方針

- 本計画期間における全体目標とその考え方

### 第4章 分野別施策

- 1 **がんのリスクの減少（一次予防）**
  - 生活習慣・生活環境の改善
  - 感染症に起因するがんの予防
- 2 **がんの早期発見（二次予防）**
  - がん検診の受診率向上
  - 科学的根拠に基づくがん検診の実施と質の向上
- 3 **がんの医療提供体制**
  - 拠点病院等における医療提供体制
  - 在宅における医療提供体制
  - がんのリハビリテーション・がんゲノム医療

### 4 緩和ケアの提供体制

- 拠点病院等における緩和ケア
- 緩和ケア病棟
- 拠点病院等と地域の医療機関との連携
- 在宅緩和ケア
- 緩和ケア研修会

### 5 相談支援・情報提供

- 各種相談支援窓口  
(がん相談支援センター、患者団体・患者支援団体等)
- がん患者等の就労
- がんに関する情報提供

### 6 ライフステージに応じたがん医療等の提供

- 小児及びAYA世代(\*)のがん患者
- 働きながら治療を続けるがん患者
- 高齢のがん患者

### 7 がんとの共生

- 患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことのできる社会の構築

### 8 施策を支える基盤づくり

- がん登録（全国がん登録・院内がん登録）
- がんに関する研究
- がんの教育・理解促進

### 第5章 計画推進のために

- 都や区市町村、都民、医療機関、事業者、医療保険者、教育機関等の役割

### がんのリスクの減少(一次予防)

<課題>

- がんのリスクを下げるための生活習慣・生活環境の改善
  - ・ 食生活や身体活動量等に関する取組
  - ・ 喫煙・受動喫煙に関する取組
- 肝炎ウイルス等の感染症に起因するがんの予防

<取組の方向性>

- 科学的根拠に基づくがんのリスクを下げるための生活習慣に関する普及啓発及び環境づくりの取組の推進
- 喫煙率減少に向けた啓発や環境整備及び受動喫煙防止対策の推進(東京都受動喫煙防止条例(仮称))
- 肝炎ウイルス等の感染症に起因するがんの予防に関する普及啓発及び検査体制の整備

### がんの早期発見(二次予防)

<課題>

- がん検診受診率の向上
- 科学的根拠に基づくがん検診の実施
- 職域におけるがん検診の適切な実施

<取組の方向性>

- 受診率50%の達成に向けた区市町村支援及び検診受診の機運醸成に向けた普及啓発の実施
- 精密検査受診率90%の達成に向けた関係機関との連携強化と体制整備及び質の高い検診実施に向けた人材の育成
- 職域における検診実施や質の向上及び受診促進に向けた支援の実施



がん医療提供体制

<課題>

- 専門的ながん医療提供体制と地域の医療機関における適切な医療提供体制の確保
- 多職種によるチーム医療の提供
- がんリハビリテーション及びがんゲノム医療の取組

<取組の方向性>

- 拠点病院等による集学的治療提供体制の確保及び拠点地域と地域の医療機関との連携の充実
- トータルケア（患者等が、診断から治療、その後のフォローを含めた全ての時期において、全人的なサポート）の提供を旨とした多職種連携の強化
- 国の動向を踏まえた、がんリハビリテーションの推進及びがんゲノム医療の提供体制の検討

緩和ケアの提供体制

<課題>

- 診断時から切れ目なく緩和ケアを提供する体制の確保
- ニーズや状態に応じた緩和ケアの提供
- 都民や患者等の緩和ケアに関する知識の向上

<取組の方向性>

- 医療機関等での緩和ケアの実施状況等の把握と必要な取組の検討
- 患者が希望する場所で安心して療養できるよう、拠点病院等における基本的・専門的な緩和ケアの提供体制の充実・強化と、地域も含めた医療従事者や介護従事者等の人材育成
- 緩和ケア病棟の機能分化と一般病床も含めた在宅療養者の病状変化時の受入れ体制の検討
- 都民等に対する緩和ケアに関する普及啓発

# ライフステージに応じたがん医療等の提供

## 小児・AYA世代

### <課題>

- 小児・AYA世代のがん患者の在宅医療も含めた適切な医療提供体制の確保・充実
- 小児・AYA世代の成長に伴い変化する医療的ニーズへの対応
- 就学、就労、妊娠等への適切な支援及び介護保険適用外による患者等の負担

### <取組の方向性>

- 東京都小児がん診療連携ネットワークによる医療連携体制の強化
- 小児がん診療科と成人診療科の連携によるAYA世代への適切な診療体制の確保
- 相談支援体制の確保及び情報提供の充実

## 働く世代

### <課題>

- 治療中も仕事を継続できるための支援及び新規・再就職支援
- 仕事をしながら治療を継続できる医療提供体制の確保
- 企業や従業員、都民等のがんに対する理解の向上

### <取組の方向性>

- 治療と仕事を継続できるよう、両立支援策を充実するとともに、新規・再就職支援の実施
- がん相談支援センター等の就業に関する相談窓口の周知
- 企業等に対する普及啓発等

## 高齢者

### <課題>

- 高齢のがん患者数の増加に対応するとともに、合併症を抱える患者への医療提供体制の確保
- 患者の意思決定支援
- 地域での相談支援体制の確保

### <取組の方向性>

- 地域包括ケアシステムのもと地域における療養体制の確保及び介護従事者のがんに関する知識向上
- 医療機関等における適切な意思決定支援策の検討
- がん相談支援センターと在宅療養支援窓口との連携体制の構築

<課題>

- 患者・家族等の相談ニーズの多様化に対する相談体制の確保・充実
- 患者・家族、都民へのがんに関する正しい情報の発信



<取組の方向性>

- がん相談支援センターの病院内・外への周知徹底と相談員の人材育成
- 休日・夜間の相談支援の実施と患者団体等の各種相談窓口の連携によるニーズに合った窓口の確保、患者等への窓口情報の発信
- 東京都がんポータルサイトの活用促進と提供情報の充実

<課題>

- 学校における適切ながん教育の実施
- 都民が予防や早期発見、早期治療に取り組む機運醸成
- がん患者等が、罹患前と変わらず安心して生活し続けることが可能な社会の構築



<取組の方向性>

- 新たな学習指導要領に基づく、学校での効果的ながん教育の実施
- あらゆる世代に対するがんに関する正しい理解のための普及啓発
- がん患者が課題を乗り越えていくための、福祉的・社会的支援も含めたサポートの実施と、都民等の理解促進